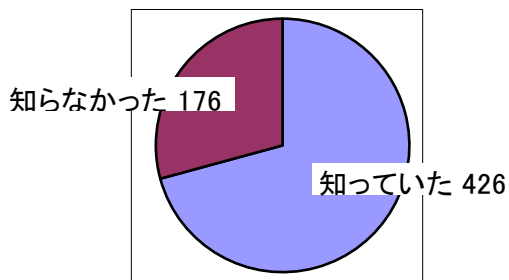


日本共産党久喜市疑団 緊急市民アンケート

【1】久喜市が避難勧告を発令しました。あなたはご存知でしたか



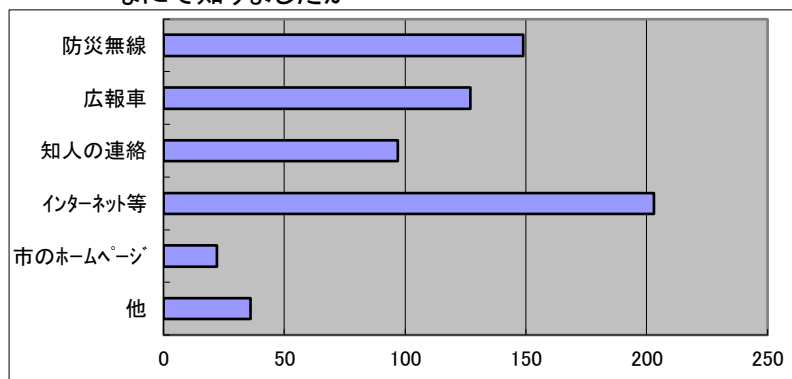
久喜市の避難勧告を知っていた人は71%。約3人に1人の方が知らずに過ごしていました。

避難勧告を知った方法は、インターネットが一番多く、防災無線や広報車を上回っています。

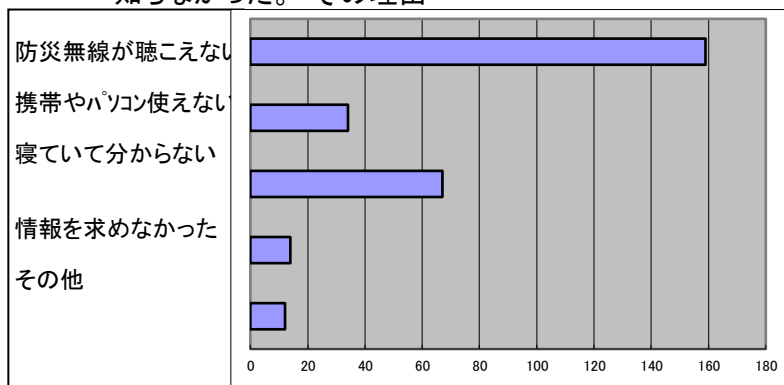
また、知らなかったその理由として、防災無線が聴こえないと答えた方が159名もあり、抜本的な対策が求められます。

次に寝ていたからとなっており、避難準備・勧告の発令が深夜であったことを反映しています。

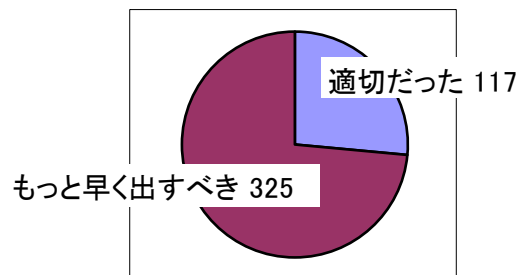
なにで知りましたか



知らなかった。その理由



【2】避難情報が深夜にでました。このことについて、伺います。



避難情報が深夜に出たことについて、74%の方が「もっと早く出すべき」と答えています。

そして、避難準備は「12日の早い時間に」、また、避難勧告は「12日の午後明るい内に」とほとんどの方が答えています。

記述において、「避難準備は早めに」「避難勧告は明るい内に」「夜間では危険」との声が133名の方から寄せられました。

多くの方が、避難勧告が発令されてから1時間以内に発令を知りました。しかし、6時以降に知った方も41名おられます。本当に洪水が起きるとき間にあうのでしょうか。

避難準備は
・12日の早い時間に

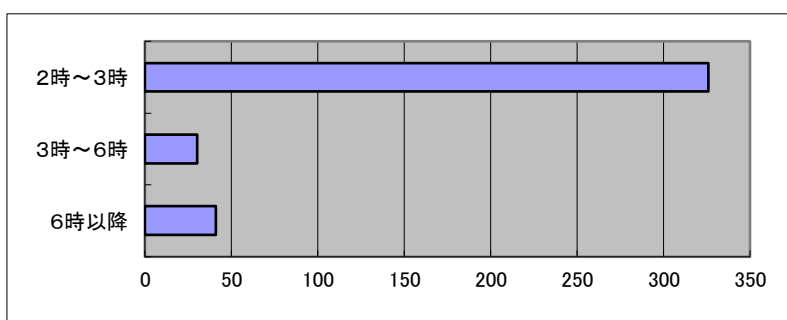
・12日より前に

避難勧告は

・12日の午後明るい内に

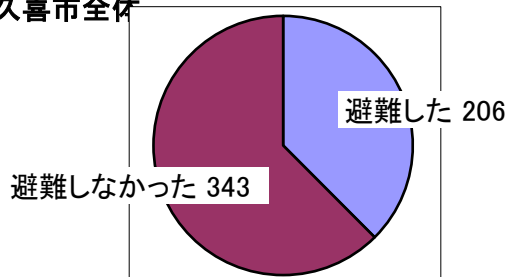
・12日の午前中に

避難勧告発令を知った時間はいつですか

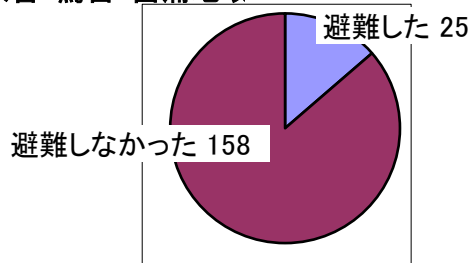


【3】避難について伺います。

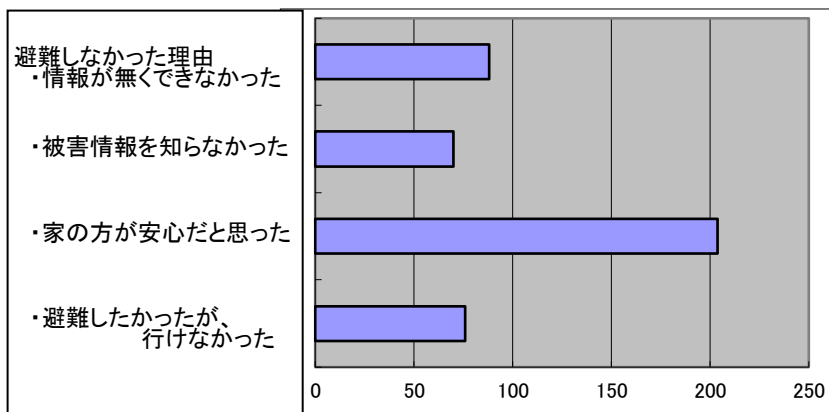
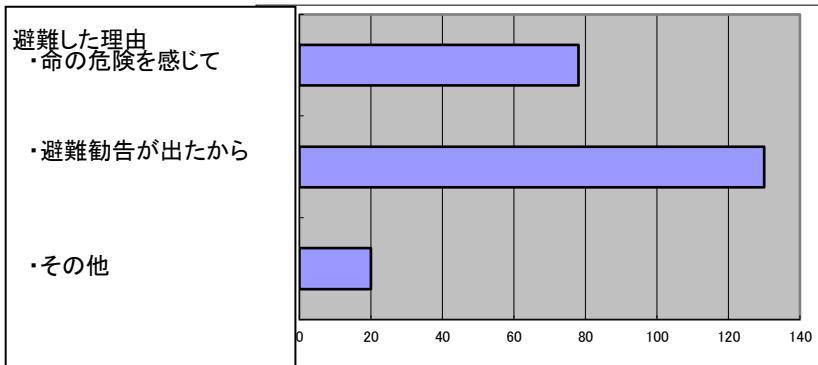
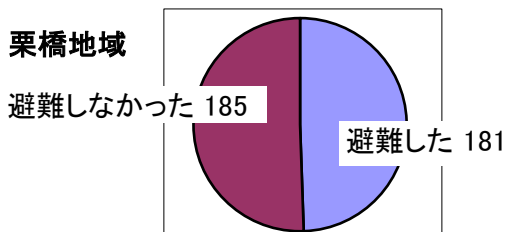
久喜市全体



久喜・鷲宮・菖蒲地域



栗橋地域

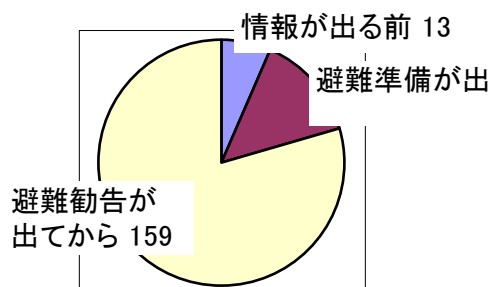


避難状況を見ると、栗橋地域では約半数の方が避難したと答え、他の地域では、一割程度の方が避難したと答えています。地域によって、洪水への対応の違いが鮮明に現れています。なお、全地域において、避難勧告は知っていたが、避難しなかった方がたくさんいることが分かります。

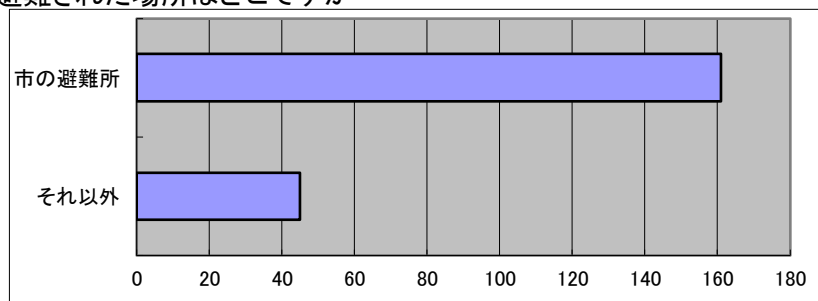
そして、全ての地域において、「家の方が安心」と思った方がたくさんおりますが、本当に大丈夫なのでしょう。

また、避難したかったが行けないと答えた方が76名もおり、記述で「高齢で動けない・遠くていけない」「家族に要支援者がいたため」18名。「ペットがいたため」16名などとなっています。適切な、対応が求められます。

■ 避難した方に伺います



避難された場所はどこですか

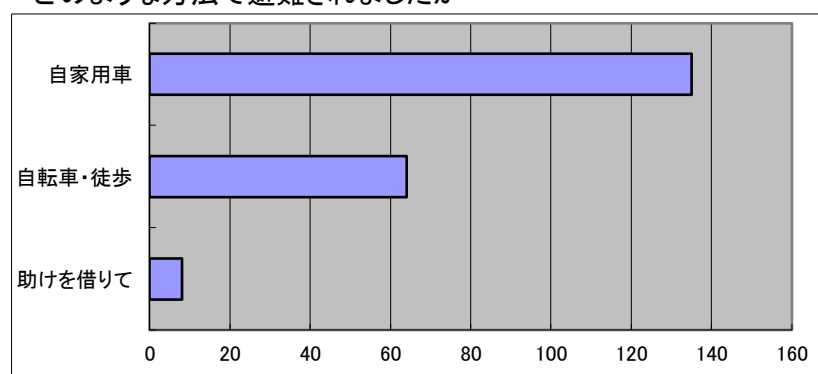


避難したタイミングは、約8割の方が避難勧告が出てからです。避難勧告を発令するタイミングは、生命を左右する大変重要な事柄だと分かります。

深夜の突然の避難勧告を受けて、76%の方が市が開設した避難場所に避難しました。

また、避難の方法として、約7割の方が車を利用したと答えています。記述の中で、渋滞の発生も記されています。検討が必要です。徒歩・自転車の方は26%でした。

どのような方法で避難されましたか

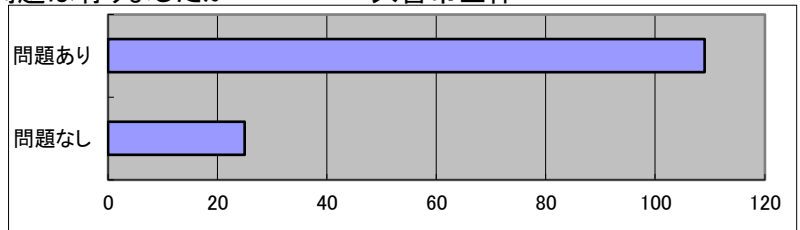


避難所に問題はありましたか

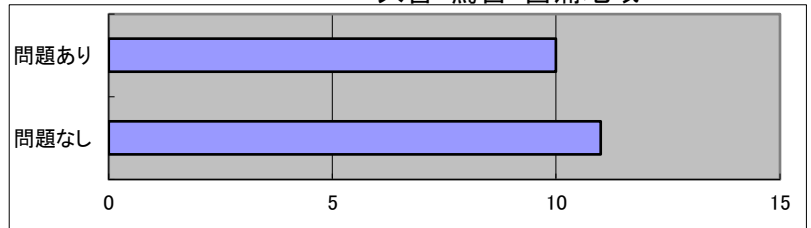
久喜市全体

市が開設した避難所について、栗橋地域以外の方は、問題ありと無しと答えた方は約半々ですが、栗橋地域では、8割を超える方が問題ありと答えています。

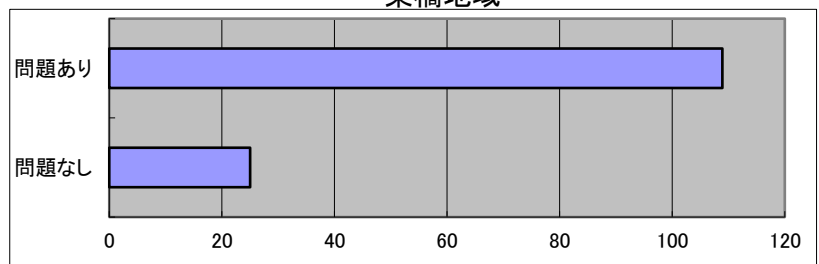
栗橋地域では、少ない避難所(5つの小中学校舎)にたくさんの方が避難してきたため、多くの問題点が発生しました。下記に、問題点を記します。



久喜・鷺宮・菖蒲地域



栗橋地域



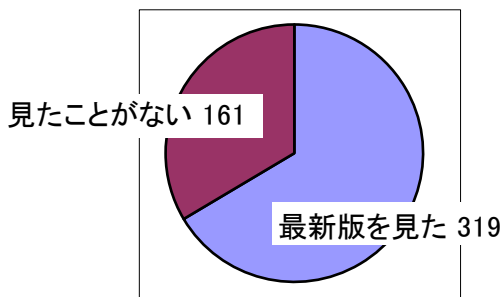
栗橋地域での避難所の問題点として

一番の問題点は、避難所に行ったが、いっぱい他の避難所に廻されたことです。そのため、住民の人口に対して避難所の収容人数が足りない、と142名の方が指摘しています。車での避難、避難の長期化も考え、浸水しない場所での避難所の確保との要望が寄せられています。また、広域避難が必要との声も少からずあります。栗橋地域全体が水没することを考えると大切な指摘といえます。

次に、避難所が開設されていない(栗橋高校他)・43名。避難場所の指定はできないかとの声も10名の方から寄せられました。避難所の管理者が分からない。情報がなにもない。毛布などの配布物がバラバラ。ペットの扱いが不明。授乳できる場所を。などの避難所の運用についての改善も多く指摘されています。

設備に関しても、膝が悪く和式トイレはきつい。要介護者や足の不自由な老人には3・4階の階段は無理。防災備蓄品は上階に格納。などの切実な意見が寄せられています。

【4】ハザードマップはご覧になりましたか。



ハザードマップを見たことがない方が約 1/3 もおり、大きな問題点です。記述の中で、配布して終わりにしないで。周知徹底が大切。などの声も寄せられています。

また、ハザードマップ分かりにくい。避難所の区分が分かりにくい。洪水を意識した避難所になっていない。との指摘があり、改善が望めます。

改善策として、マップを見ても水深がイメージできないので電柱に水色テープで明示を、との提案がありました。

洪水から市民の命を守る ― 逃げ遅れ〇を目指して

【防災計画】 広域避難を中心にすえた防災計画への変更。避難の注意・準備・勧告・指示の発令基準(タイミング)の見直しを。との提案が寄せられています。

利根川の水位計の修理・増設要望。利根川上流での降雨・水位・ダムの放流などの情報発信。避難情報の前に、水位や行政の動き、注意喚起情報、避難所開設情報を知らせて。などの声が寄せられています。

【公助】 要支援者一人ひとりに適したケアの具体化。要支援者のバスによる送迎。外国人対応が大切。との指摘が寄せられています。

【共助】 自治会などによる情報交換や避難補助体制の構築。日ごろからの避難訓練が大切との声が多く寄せられています。

【自助】 防災備蓄や緊急持ち出し物の洗い出しなど、普段の準備が大切。そのためにも、防災意識を高める機会を増やして、との意見が多数寄せられました。

「自分の命は自分で守ることを意識する。市役所に頼ると死んじゃいますよ」との声もありました。

【河川改修】 河川内立木の伐採、川の底さらい。強化堤防の加速。堤防の嵩上げ。の要望も多数寄せられています。

【その他】 市職員の緊張・防災意識が足りない、勉強して。引越したいくらいだ。市長は市民と話し合うべき。栗橋駅西口には避難所がない、みんな死ねというのか。など、久喜市に対する不満が多く寄せられています。

地球温暖化でこのような台風は頻繁に襲来することが考えられる。適切な対応を早期に実現。との声もあります。

最後に、このようなアンケートは自治体が行うべきとのご意見も3名の方から寄せられています。